



栗山



学校だより
学校運営協議会だより

校訓：誠実・自律・調和

令和6年4月12日

あなたの未来を
あるけるまち。

第4月号  八王子

八王子市立浅川中学校

『聴き合う優しさ』を新たな伝統に

～共に学び成長するために、大切にしたい「学びの作法」～

校長 市場 陽一郎

今年の桜は新しい年度の始まりに合わせるように咲き、満開の桜に見守られながら始業式、入学式を行うことができました。新入生140名を迎えて、全校生徒370名、教職員40名での穏やかなスタートです。

今、浅川中学校は上級生や教職員が保護者、地域の方々と一緒に『共に学ぶ、もっと優しい学校』を目指して日々努力しています。今年度も本校の校訓『誠実・自律・調和』を常に意識して、人と人とのつながりを大切に、互いに認め合い、高め合い、すべての生徒が伸びて行くことを目標にしています。生徒たちが共に学び合う「新たな伝統」を受け継ぎ、浅川中学校で学んだことを誇りに思うように育ててくれることを期待しているところです。

入学式では、この浅川中学校で共に学ぶために、大切にしなければならない『学びの作法』について式辞の中で全校生徒に伝えました。



相手の言うことを受け入れて、深く考え、自分自身の考えを作り上げていくことが、**学びの原点**です。ものごとを深く考え、本質を学ぶためには、先ず発言する人の話に耳を傾けながら聴き合うという姿勢が必要です。その意味で、このお互いに聴き合う関係は『**学びの作法**』だと言われています。この聴き合う学びの作法は生涯にわたって学び続けるために必ず必要な力になります。この作法を浅川中学校で身につけてください。

また、聴き合うということは優しい行動です。優しい心があるからこそ、相手の立場を認め、思いやり、真剣に耳を傾けることができます。優しい学級、学校では誰の話にも優しく耳を傾けてくれます。そのことが、わからないことは「分からないから教えて」と言える雰囲気をつくり、共に学び合う学校に近づけてくれます。そしてこれが、本校が目指す、優しさと、共に学ぶということなのです。

<入学式式辞より>

今年度の生活指導の重点もこの聴く姿勢、聴き合うことのさらなる進化に置くことにしました。今の浅中生の優しく素直で、穏やかに学び合う姿は素敵です。その上に、さらに自律の心や調和の心で学び合えば、困った時には勇気を出して「誰かに聴く強さ」を身につけることができるでしょう。



新入生の心に響く 入学式上級生歓迎の合唱

また、少しの勇気を持ち、自ら一歩踏み出す主体的な強さも獲得できるはずです。『もっと優しく、もっと強く浅川中』をスローガンに掲げ、聴き合う関係を築き、コミュニケーション能力を育て、みんなで成長できる学校づくりを行ってまいります。

保護者、地域の皆様、今年度も浅川の生徒たちが優しく強く伸びて行けるように、温かい見守りとご支援をよろしくお願いいたします。



令和6年度 浅川中学校学校経営計画

はじめに

目指す生徒像は「人と人との関わりから学び合い、社会に貢献できる生徒」である。本校の校訓にもある自律と調和を意識し、人への優しさを大切に、関わって学び成長する生徒を理想としたい。より良い人間関係の構築を行い、生徒が主体的に活動する姿が見える学校づくりを行う。

教育理念、『はじめ（自律）をつけ、意欲的に学習（学び合い）に取り組み、仲間（人権意識）を認め互いに思いやる心をもてば、必ずそこに感動（気づき）が生まれる。』を忘れることなく、この「感動」を学校全体で感じ、誇りとし、更なる成長、改善への力としていく。

★校訓★ 『誠実』・『自律』・『調和』

1 教育目標

自ら、確かな学力、豊かな人間性や社会性、たくましい体を主体的・創造的に育み、その能力等を、自己実現及び社会の発展のために発揮できる生徒を育成する。

◎ **自ら学び考え行動する生徒** ・ ・ ・ ・ ・ 【今年度の重点】

- 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
- 心身ともに健康で、たくましく生きる生徒

2 目指す生徒像

『人と人との関わりから学び合い、社会に貢献できる生徒』

- ◎自律と調和を意識し、人への優しさを大切にする生徒
- ◎関わって学び、成長する生徒
- ◎常に当事者意識を持ち、自分事としてものごとを考える生徒

3 目指す学校像

『共に学ぶ、もっと優しい学校』地域運営学校として公立学校での使命を果たす学校

学校経営の基本方針—経営のスローガンおよび指導方針—

愛情・誠実・使命感をもって行動し、『共に学ぶ、もっと優しい学校』を目指す。

人と人とのつながりを大切に、認め合う学級、学年経営を行う。具体的な方策として「学び合い、聴き合う授業づくり」を進める。生徒一人一人の学力を保障することはもちろんであるが、互いに認め合い高め合うという人権尊重の精神を毎日の授業を通して浸透させることにより、いじめ、不登校はもとより生活指導上の問題発生を予防する。同時に、自らの課題や特性と向き合い、より前向きな気持ちで生活する「強さ」を生徒たちに求めたい。そのために教職員同士や保護者、地域関係者との交流により教職員の指導力向上や地域との連携を図る。

今年度の指導の重点

『学び合う授業づくりと、優しく自律した主体的な生徒の育成』

1. 聴き合い、学び合い、自ら成長しようとする生徒の育成のために【今年度の指導の重点】

今年度は「話を聴く」力、姿勢を身につけさせ、コミュニケーション能力の向上や対話的な学びや共働的な学びにつなげる指導を強く意識して取り組む。

◎自律のための自己指導能力育成と温かい人間関係

・「みそあじは運動」を優しい行為として捉え、全教職員が共通認識を持ち指導、支援する。

「み」自律を促し規範意識が高め、誰もが安心して過ごせる優しい学校を目指す。言葉遣い、場に応じた行動もみだしなみ。

「そ」そうじは誰かのために頑張る優しい行動。4人班で責任ある行動を。

「あ」あいさつは相手を認め、思いを伝える優しい行為。良いあいさつができるように、より良い人間関係の構築につなげ、いじめや不登校の防止に。同時に、あいさつは主体的で前向きな自分をつくる行動であることを意識させる。

「じ」時間は皆のもの。時間を守るのは周囲への優しい行為。ノーチャイム始業の徹底。

「は」話を聴くことも相手を認め、思いを受け止める優しい行為。聴き合う関係づくりを。

- ・生徒理解の上に立った、生徒の**人格を大切に**する温かい指導、支援を徹底する。
 - ・**教師が伴走者やファシリテーターとして生徒の自己決定を促し指導、支援を行う。**
 - ・水曜日5校時を「生徒理解の時間」と設定し、いじめ・不登校対策への取り組みを全教職員で行う。
 - ・**自己肯定感を高め、前向きな学校生活を送らせるために、『もっと優しく、もっと強く浅川中』を合言葉に、授業、学校行事、生徒会活動、委員会活動や部活動などあらゆる場面でリーダー育成、フォローアップを行う。**生徒に達成感をもたせる。特に、生徒会活動の活性化を学校全体の主体的な活動につなげていく。
 - ・体育祭、音楽祭、修学旅行、移動教室、校外学習では自律と調和を意識した教育活動となるよう計画、実施する。リーダー育成に注力する。
- ◎特別支援校内委員会で生徒への支援の方向性を共有確認し、丁寧に指導支援する。同時にくりやま教室との連携で支援の必要な生徒を支えていく。

2. 学び合い、高め合う魅力ある授業づくり <「学びの共同体」の理念を基に>

- ◎ **グループ学習を柔軟に取り入れ**、協働的な魅力ある授業を展開する。
 - ・教師の授業力を向上させるため、年3回の授業研究協議会を持つ。最低、年3回の中研究授業（学年、学年、特別支援教育）、教員各自が取り組む小研究授業を行う。
 - ・積極的に放課後学習、補習等を行い、学力に不安をもつ生徒を支援し学習意欲を高める。
- ◎ 学び合う授業づくり、聴き合う関係づくりにより生徒の居場所がある優しいクラスをつくり、コミュニケーション能力の向上につなげる。関わる力を身につけさせ不登校やいじめを防止する。

3. 地域運営学校として『地域から信頼される学校』に<社会に貢献する意識の育成>

◎学区に高尾山を持つ学校として、日本遺産高尾山学習に取り組む

- ・日本遺産高尾山学習に取り組み、郷土を知り、考え、故郷に愛着と誇りをもたせる。
- ・SDGsの考え方を学び、自分事として考え、行動できる生徒を育てる。

◎学校運営協議会、青少年対策浅川地区委員会との連携

- ・生徒に積極的にPTA・地域行事、ボランティア活動への参加を促す。その中で地域で活躍し**貢献**する場や、地域の方々との**関わりの中から学ぶ**機会を増やす。
- ・より地域から信頼される学校を目指し、教職員のPTA・地域行事への積極的参加推進。

4. GIGA スクール構想、ICT 機器活用に挑戦

◎一人一台PCの積極的活用

- ・教科の授業や様々な教育活動の中でPC活用を実践する。
- ・補充的学習や個別支援でのPC活用を実践する。

◎ホームページ、デジタルサイネージの充実と発信、校務の効率化

- ・デジタルサイネージコーナーの充実による情報発信を行い、生徒の意欲を高める。
- ・学校ホームページ、ホーム&スクールで保護者、地域へ情報を積極的に発信する。

5. 働き方改革を意識した教育活動・部活動の充実

- ・定時退勤日を毎月設定。職員会議日を基本とする。（個人指定ノー残業日の設定検討）
- ・全ての部活動に複数顧問を配置し、生徒の活動の保障と教員の負担の軽減を図る。
- ・八王子市、浅川中部活動ガイドラインを基に部活動改革に着手する。

6. その他

- ・教育課題研究推進校としての経験を活かし、特別支援教室拠点校としての教育実践を行う。そのことを学校全体（教職員、生徒）や巡回校の特別支援教育理解につなげ、教育的ニーズに応える。
- ・小中連携した教育活動を更に推進する。学力向上や新しい教育活動「パパス・スタイル」などについて話し合いを継続して行う。

令和6年度 浅川中学校教職員

校長	市場 陽一郎	経営	美術科	
副校長	竹中 直	経営	美術科	美術部

1 学年	A組担任	越後谷 太郎	主幹教諭	社会科	●1学年主任 陸上競技部
	B組担任	佐々木 礼奈	教諭	英語科	ボランティア部
	C組担任	神宮寺 航	教諭	保健体育科	サッカー部 野球部 卓球部・インドア部
	D組担任	酒井 良樹	教諭	数学科	サッカー部 テニス部
	副担任	中島 慎太郎	主幹教諭	理科	●教務主任 吹奏楽部
	副担任	佐藤 悦子	教諭	国語	ハンドメイド部
	副担任	武井 美怜	教諭	国語	剣道部

2 学年	学年主任	小山内 繁	主幹教諭	美術科	●2学年主任 ●進路学習部主任 美術部
	A組担任	村上 耀亮	教諭	技術科	男子バスケットボール部
	B組担任	村上 聡美	教諭	国語科	●司書教諭 吹奏楽部 体操部
	C組担任	白羽 陸	教諭	社会科	テニス部
	副担任	立花 正恒	教諭	英語科	剣道部
	副担任	依田 順子	主任教諭	数学科	Eてらこや 陸上部

3 学年	学年主任	柴崎 浩一	主任教諭	理科	●3学年主任 生物部
	A組担任	谷合 夏佳	教諭	保健体育科	女子バスケットボール部
	B組担任	篠田 宇行	主任教諭	社会科	●生活指導主任 サッカー部 野球部
	C組担任	川崎 奨生	教諭	数学科	女子バスケットボール部
	副担任	後藤 宏和	教諭	英語科	Eてらこや
	副担任	田部 翔太	教諭	音楽科	吹奏楽部 バレーボール部
	学年付	木村 里歩	主任養護教諭	養護	スキー部 卓球部・インドア部

特別支援教室 くりやま	末光 真之	主任教諭	保健体育科	●くりやま教室主任 陸上競技部 卓球部・インドア部
	石井 麻佳	主任教諭	美術科	卓球部・インドア部 剣道部
	今井 鮎子	教諭	美術科	ハンドメイド部
	岩本 岳朗	教諭	保健体育科	バレーボール部
	岡本 和樹	教諭	保健体育科	野球部 卓球部・インドア部
	伊藤 結菜	教諭	国語科	テニス部
	財前 吉彦	非常勤教員	国語科	ボランティア部
特別支援教室専門員	谷 淳子	専門員		

講師	大神田 徳子	家庭科	講師	高城 奈那子	理科
講師	樋口 健一	数学科	講師	浅野 和也	英語科

都事務職員	小川 真佐子	事務主任	学校司書	岡嶋 敦子
市事務職員	鈴木 美絵	事務職員	スクールカウンセラー	鈴木 麻里
用務主事	浅岡 寿生	用務主任	スクールサポートスタッフ	関口 加代子
副校長補佐	山田 千晶		スクールサポートスタッフ	荒井 麻希

学校運営協議会					
会長：佐藤 ますみ 委員：佐戸 博 柳澤 則子 遠藤 由起子 淵上 明美 座間 佑耶					
本堂 敦子 小尾 良二 (次期PTA会長) 市場 陽一郎					

<転出>

吉田 直幸	副校長	退職
山田 隆	市事務	退職
佐々木 淳子	副校長	新島村立新島中学校
大野 裕太	教諭	杉並区立高井戸中学校
篠原 可子	教諭	三鷹市立第一中学校
野田 剛	教諭	西東京市立ひばりが丘中学校
佐藤 明子	産休代替	立川市立第六中学校

<転入>

石井 麻佳	主任教諭	八王子市立打越中学校
依田 順子	主任教諭	昭島市立清泉中学校
佐々木 礼奈	教諭	練馬区立南が丘中学校
神宮寺 航	教諭	青梅市立第三中学校
鈴木 美絵	市事務	八王子市立長房小学校
<新任>		
武井 美怜	教諭	
伊藤 結菜	教諭	